

大阪交番検査車両所の職場の実態！ これが「安全」最優先の姿勢か？！

交検職場では、4月1日から交番検査に「車内ネットアクセスポイントNF B切」の作業が追加されました。3月31日に「技術連絡」を貼り出して、翌4月1日の始業点呼で作業連絡として班長に口頭で伝達させましたが、そのNF Bはどこについているのか確認する時間も、作業前打ち合わせもありません。

4月1日は総点呼で、点呼場の前にあるモニターには「職場スローガン」が大きく映し出され社員全員で唱和しましたが、そのモニターに「今日から切ってもらおうNF Bはこれです」と映してもらえば話が早いのに、以前と比較してかなり人数の増えている現場管理者は何の仕事をしているのでしょうか。「唱和」とか「うちの職場はやっていますアピール」とか「管理者としての自己の評価」ばかりで、あまり現場社員のことなど考えていないのではないのでしょうか。

コロナウイルスの感染対策は？！

また総点呼の所長訓示で「コロナウイルスに感染しないように気をつけて」ということが言われましたが、コロナウイルス感染が取りざたされて以降も終業点呼で社員を詰め詰めに整列させて大きな声で「出勤遅延防止の唱和」をいまだにやらせています。

また、3月16日に開催された「安全衛生委員会」の報告を職場に掲示したのは3月30日になってからです。

本当に社員の「安全」について考えていますか。

現場管理者としての資質を問われるのではないですか！

他の車両所の現場管理者はどうですか？